



学校だより

九度山町立
九度山中学校

令和3年度

2/24発行



学校 HP

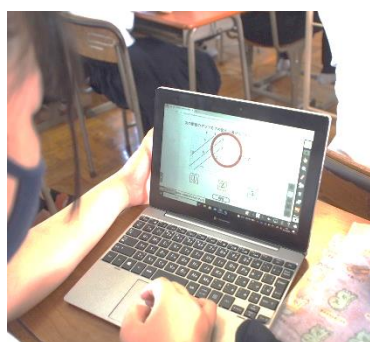
学校教育目標

夢や希望に向かって、自ら考え行動し、地域とともに歩む生徒の育成

立春から3週間が過ぎ、雨水を過ぎても今年は寒い日が続いています。寒さのピークは過ぎたようですが、季節の進みは遅く、なかなか三寒四温とはならないようです。ちょうど、オミクロン株による爆発的な感染を引き起こしているコロナウイルス第6波とペースを合わせているかのようにも思われます。オミクロン株の影響で近隣の学校ではクラスターが発生したり、学級（学年）閉鎖になったりしています。本校でも感染予防のため、和歌山での「まん延防止措置」を待たずに部活動を中断しました。学年末テスト以降には再開する予定ですが、校内球技大会をやむなく中止にする等、たくさんの影響を受けています。本格的な春の訪れを待たず、1日でも早く終息してくれることを願っています。



さて、本年度も残すところ1ヶ月となり、1年間の総括をする頃となっています。この1年間で一番大きく変わったことは、GIGAスクール構想により、生徒1人1台のPC端末を使うようになったことです。どの教科でも端末を利用する頻度が増え、単元の内容をより構造的・立体的・視覚的に理解できるよう工夫した授業が見られるようになりました。また、グループやクラス全体の討論や対話・協働を引き出すツールとしても活用されています。その他には、自主学習ソフトを活用した自主勉強やアンケート等でも活用しています。デジタル教科書については、本年度は数学で導入しましたが、来年度は数学に加え、英語・社会でもデジタル教科書を導入します。さらに、来年度には端末の持ち帰りも予定しており、自宅でもリモートで授業やミーティング等ができるようになります。デジタル教科書については2024年に本格導入が計画されています。本校では、来年度から「デジタル教科書の使用により可能となる学習方法の研究」を進めていきたいと考えています。（校長：前田）



出すツールとしても活用されています。その他には、自主学習ソフトを活用した自主勉強やアンケート等でも活用しています。デジタル教科書については、本年度は数学で導入しましたが、来年度は数学に加え、英語・社会でもデジタル教科書を導入します。さらに、来年度には端末の持ち帰りも予定しており、自宅でもリモートで授業やミーティング等ができるようになります。デジタル教科書については2024年に本格導入が計画されています。本校では、来年度から「デジタル教科書の使用により可能となる学習方法の研究」を進めていきたいと考えています。（校長：前田）

■主な行事予定

2	28	月	学年末テスト（1・2年） SC	14	月	専門委員会 SC
3	1	火	学年末テスト（1・2年）	15	火	交通指導
	2	水	学年末テスト（1・2年）	16	水	生徒会役員選挙
	4	金	予餞会	17	木	県立高校合格発表
	7	月	卒業式予行 SC	21	月	春分の日
	8	火	第75回卒業証書授与式	23	水	大掃除
	9	水	県立高校学力検査 到達度テスト（1・2年）	24	木	生徒総会 生徒会解任式・任命式 修了式（離別式）
	10	木	県立高校面接	25	金	学年末休業開始

令和3年度後期学校評価アンケート ○実施時期：令和4年1月



「学校評価アンケート」へのご協力ありがとうございました。アンケートの集計を行いましたので、その結果を保護者の皆様にお知らせします。今後も本校への教育活動にご理解ご協力いただきますようお願い申し上げます。アンケート結果については本校HPにも掲載しますので、ご覧ください。

※学校HP「校長室から」⇒「学校評価アンケート」

生徒アンケート ○回答率：生徒93%

昨年度と比較して肯定的な回答（「とてもそう思う」＋「まあそう思う」と否定的な回答（「あまりそう思わない」＋「全くそう思わない」）の割合が5ポイント以上増減のあった設問は次の4つでした。

①肯定的回答が増加 ⇒ 設問12：火災や地震などが発生したとき、自分がすべき行動について理解している。（避難訓練をした数日後に緊急地震速報を伴う規模の地震があり、訓練の成果が活かされたことが大きいと思われる） 設問19：家の手伝いをしている。（コロナ禍における家庭で過ごす時間の増加が一因であるかと思われる） 設問23：運動会・文化祭などの学校行事に意欲的に取り組んだ。（コロナ禍において、制限された学校行事に生徒はとても意欲的に取り組んでいる）

②否定的回答が増加 ⇒ 設問3：授業や休憩時間、放課後に質問する回数が増えた。（授業では、ペアやグループによって課題解決をすることが定着しつつあり、簡易な疑問は生徒同士で解決する場面が増加したものとする）

回答の傾向として「まあそう思う」や「あまりそう思わない」と回答した割合の増加が目立ち、「とてもそう思う」が大きく減少した設問もあります（「まったくそう思わない」と回答した割合も減少している）。なお、気になる回答（『設問1：学校へ行くのが楽しい』で、「あまりそう思わない」と回答している生徒等）については、個別に面談し、必要なケアを行っています。

保護者アンケート ○回答率：生徒95%

本年度後期の回答の特徴として、設問全体の平均では肯定的な回答（「とてもそう思う」＋「まあそう思う」）が4ポイント減少、否定的な回答（「あまりそう思わない」＋「全くそう思わない」）が1ポイント減少し、「わからない」と回答した割合が5ポイント増加しています。昨年度も「わからない」と回答した保護者が増えており、コロナ禍における学校行事等での保護者の関わり方や回数の変化がその一因であるかとも思われますが、学校や教員が信頼されるように教育活動を行い、丁寧に説明して理解していただく必要性を感じています。

なお、個別の項目について、昨年度後期のアンケートと比較して10ポイント以上の増減があったのは次の6つの設問です。（紙面の関係上設問内容を省略しています）

①肯定的回答が増加し、否定的回答が減少 ⇒ 設問13

②肯定的回答が減少し、「わからない」が増加 ⇒ 設問3 設問5 設問8

③肯定的回答および否定的回答が減少し、「わからない」が増加⇒ 設問7 設問9

また、10ポイント未満ではあるが、5ポイント以上増減があったのは次の7つの設問です。

①肯定的回答が減少し、肯定的回答が増加 ⇒ 設問1 設問4 設問12

②肯定的回答が減少し、「わからない」が増加 ⇒ 設問2。

③否定的回答が減少し、「わからない」が増加 ⇒ 設問6 設問10 設問11

